

平成 27 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	反応集積化が導く中分子戦略：高次生物機能分子の創製
領域代表者	深瀬 浩一 (大阪大学・理学研究科・教授)
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、マイクロフロー合成による反応集積化法を用いて、複雑な生体機能性中分子の効率的な合成と新機能の創成を目指す意欲的な試みである。新学術領域研究「反応集積化の合成化学 革新的手法の開拓と有機物質創成への展開」（平成 21～25 年度）で創出された概念・成果に基づき、集積反応化学を中分子の効率的構築技術へと展開し、合成化学における新領域創成を目指した提案である。三次元的に豊かな広がりを持つ中分子の高効率的合成法の確立が反応集積化により実現すれば、創薬研究をはじめ関連学術分野にも大きな波及効果が期待され、社会的意義も大きい。</p> <p>研究組織は 3 つの研究項目から構成され、複雑な中分子の高効率合成において実績のある研究者が多く参画しており、多大な成果が期待できる。一方で、構造的に複雑な中分子の合成には、さらに高度な反応集積化が求められるため、マイクロフロー合成手法の更なる発展に向けた連携の強化が望まれる。</p>